

松江市 報道提供資料

令和5年10月6日

件名 松江歴史館特別展「漆壺斎と勝軍木庵」の開催について

内容

松江歴史館では、特別展「漆壺斎と勝軍木庵—花開く松江の漆文化—」を開催します。出雲の名工として名高い小島漆壺斎と勝軍木庵の作品を紹介し、松江藩の漆芸文化を振り返る展覧会です。

会 期 令和5年(2023)10月20日(金)～12月10日(日) 毎週月曜休館
オープニング式典は10月20日(金)9時30分から開催(9時受付開始)。

会 場 松江歴史館 企画展示室

開館時間 9:00～17:00 ※観覧受付は16:30まで

【注目点】

- ・島根県内外に存在する漆壺斎と勝軍木庵の作品を一堂に公開します。作品が一堂に集まる機会は、松江市内で27年ぶりであり、松江歴史館では初めてです。
- ・初代から7代、そして後継者の漆壺斎の作品約50点、勝軍木庵光英と息子・春光の作品約35点を展示します。
- ・会期中の10月21日(土)14時～は、三井記念美術館学芸部学芸課長の小林祐子氏による記念講演会「不昧に愛された蒔絵師—羊遊斎と漆壺斎」を開催します。

【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江歴史館 担当：大多和・藤岡

電話：0852-55-5511

Special Exhibition

Shikkosai and Nurudean

-Matsue's Flourishing Lacquerware



勝軍木庵光英作
「春草蒔絵菓子重」(当館蔵)

不昧が育んだ
美意識の継承

漆壺齋と

〔特別展〕

勝軍木庵

花開く松江の漆文化



勝軍木庵光英作「菊蒔絵壺」
(京都国立博物館蔵)



初代小島漆壺斎作「漆写菊蒔絵香合」
(島根県立美術館蔵)



四代小島漆壺斎作「七宝花菱唐草蒔絵鯨茶器」
(京都国立博物館蔵)

2023.
10.20 | 金 | - 12.10 | 日 |

9:00-17:00 (観覧受付は16:30まで)

10.20(金)のみオープニング式典のため展示室は10時開場

休館日: 毎週月曜日 会場: 松江歴史館 企画展示室

観覧料: 大人 600円(480円) 小・中学生 300円(240円)

※ 基本展示室とのセット券の料金は大人 880円(700円)、小・中学生 440円(350円)

※ ()内は20名以上の団体料金

※ 高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金

主催/松江歴史館 後援/島根県茶道連盟、島根県、島根県教育委員会、朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、T・S・Kさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰



日本語WEBサイト



英語WEBサイト



松江市立
松江歴史館



松江歴史館HP

令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

〔特別展〕

漆壺齋と

勝軍木庵

花開く松江の漆文化

Special Exhibition

Shikkosai and Nurudean

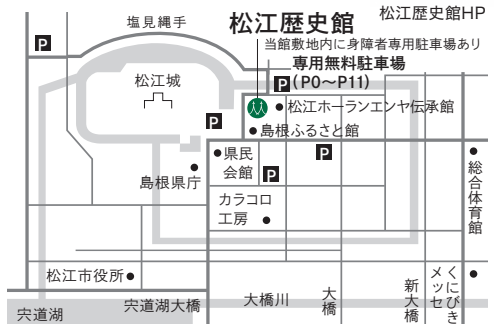
-Matsue's Flourishing Lacquerware

200 years ago here in Matsue there was a lacquer artisan that was loved by a feudal lord. Their names were Shikkosai Kojima and Mitsuhide Nurudean. Shikkosai's lacquerware was characterized by its beautiful coating. Among the kinds of lacquerware that he produced, he made a large number of tea utensils. Shikkosai's lacquer techniques have been passed down to each successive generation, the current practitioners belonging to the 7th and 8th generation. Mitsuhide's speciality was crafting extravagant ornaments and decorations that were adorned with lots of gold and silver. At this exhibit we will display the works of two separate families of lacquer artisans, through which we will showcase the splendor of Matsue's lacquerware.

松江市立 松江歴史館

〒690-0887 鳥根県松江市殿町279番地
TEL 0852-32-1607 FAX 0852-32-1611
<https://www.matsu-reki.jp/>

Facebook、Instagram等
各種SNSで最新情報を配信中。



初代の小島漆壺齋(？-1830)

は、松江藩松平家7代藩主松平治郷

(不昧)のお抱え塗師です。代々漆

芸を家業とする漆壺齋の作品は、

塗りと品格のある蒔絵に特徴があ

り、全国でも高く評価されています。

中でも初代小島漆壺齋の手掛けた茶

道具は、不昧の美意識を伝える品と

して各地で大切に伝えられています。

勝軍木庵光英(1802-71)は、

松江藩松平家9代藩主松平齊貴に

重用された蒔絵師でした。光英は、

豪華な高蒔絵を得意とし、棗、香合、

印籠、硯箱、文台など多くの作品を

残しています。本展では、

出雲の名工として名高

い両者の作品を紹介し、

松江藩の漆芸文化を振り

返ります。



勝軍木庵光英作「菊蒔絵中次」
(鳥根県立美術館蔵)



初代小島漆壺齋作「菊蒔絵棗」
(当館蔵)

不昧が育んだ
美意識の継承



勝軍木庵光英作久能山三保富士隆埴清見蒔絵印籠
(当館蔵)



勝軍木庵光英作「蒔絵手箱」
(松江市指定文化財、松江神社蔵)



三代小島漆壺齋作
「一閑張菊蒔絵茶器」(当館蔵)

記念講演会

不昧に愛された蒔絵師 — 羊遊齋と漆壺齋

講師 小林 祐子氏(三井記念美術館学芸部 学芸課長)

会場 松江歴史館 歴史の指南所

日時 10月21日(土) 14時-15時30分 [無料・定員60名(先着順)・要申込]

※ 特別展観覧券または年間パスポートが必要です。

学芸員による展示解説

ギャラリートーク

会場 松江歴史館 企画展示室

日時 10/22(日)、11/3(金・祝)、
11/25(土)、12/6(水) 各日14時-15時

※ 特別展観覧券または年間パスポートが必要です。

関連講座(松江おもしろ談義)

漆器の鑑賞を楽しむ

講師 大和多 弥生(当館副主任学芸員)

会場 松江歴史館 歴史の指南所

日時 11月19日(日) 14時-15時

[無料・定員60名(先着順)・要申込]

交通アクセス

- 市内交通バス**
 - ぐるっと松江レイクライン
JR松江駅より13分
「大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前」下車徒歩3分
 - 一般路線バス
JR松江駅より9分、「県民会館前」下車徒歩5分
JR松江駅より15分、「塩見縄手」下車徒歩1分
- 自動車**
 - 山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
 - 松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)
 - 当館敷地内に身障者専用駐車場あり
- 飛行機**
 - 出雲空港へ 東京(羽田)90分、大阪(伊丹)60分
福岡70分、名古屋(小牧)70分
静岡90分、仙台120分
 - 米子空港へ 東京(羽田)80分

※ 各空港よりJR松江駅まで連絡バスが運行しております。
出雲空港(35分)／米子空港(45分)

●最新の情報は松江歴史館のホームページにてご確認ください。